いじめをノックアウト選

■いじめをノックアウト
ガマンしちゃダメ!／その“いじり”、大丈夫?
いじめが起きにくいクラスって?／LINEのトラブルをさけるには?
いじめの“空気”変えるには?／友達からのSOS!あなたは何を伝える?

■ココロ部
みんなに合わせる“友情”

放送日:2018年　放送時間:各10分

対象校種　小学校4年生以上　中学校　高校

対象教科　道徳　学級活動

この番組の良さ

● いじめについて真剣に考える

この番組では、MCの高橋みなみさんが、自分が経験したいじめやその時の思いを本音で語りながら進行し、最後に「自分だったらどうするか」という問いをもつことができます。本番組の良さは、いじめ防止、いじめ撲滅のために児童・生徒たちが真剣に語り合い、学級全体でいじめを考える場面が数多く収録されていることです。番組視聴を通して、現場で実際に行われている、いじめに関わる授業や取り組みを知ることができます。自分の学校・学級でのいじめ対策の参考として活用できます。

● 「いじめの発見」のきっかけに

番組の中には、MCの高橋さんや全国の児童・生徒が、いじめ経験やいじめにつながる行為について語る場面があります。番組視聴をきっかけに、自分と同じつらい思いをしている人がいることを知り、言い出せなかった体験や思いを語りやすくする効果が期待できます。また、いじめられている側の気持ちを知ることで、友達との関わり方を考えるきっかけになります。

執筆者
江別市立大麻泉小学校
教諭　**前多香織**

番組活用のポイント

● 「いじめの芽」「いじめの兆候」を見逃さない学級・学校に

いじめは、どの学校でも、どの子供にも起こり得る問題です。平成30年度に全国で実施されたいじめ調査では、過去最多の認知件数という結果が発表されました。特に小学校での認知件数が急増しています。学校内外での友達関係で肉体的・精神的につらいと感じたものをすべて「いじめ」として認知し、報告したことが、件数が増えた要因です。

『いじめをノックアウト選』には、いじめが起こりにくい学級集団づくりの取り組みや、日常の友達関係でよくある「いじり」を取り上げています。いじめにつながる行為を学級全員が見逃さないための防止対策や、起こってしまった時の指導場面で活用することができます。特に、クラス替えをしたばかりの新学期や、子供同士がより良い関係をつくれるよう指導する際に、本番組を活用することができます。

● いじめられている人の気持ちを知り、何をするべきかを考える

『ガマンしちゃダメ!』、『いじめの“空気”変えるには?』、『友達からのSOS!あなたは何を伝える?』では、実際にいじめを受けた子供がその時の気持ちを語る場面が多くあります。子供たちの話を視聴するだけでも、つらい気持ちが伝わり、憤りを感じます。いじめられた人のつらさを知り、自分はどのように行動するべきかを考えるきっかけとして活用することができます。いじめている側に同調したり、知らないふりをしたりすることで、いじめられている友達がさらにつらい思いをする…そのようなことがないよう考える場面での活用をお勧めします。

● SNSとの付き合い方を考える

『LINEのトラブルをさけるには?』、『みんなに合わせる“友情”』では、SNS上での言葉によるトラブルやグループ外しを取り上げています。相手に誤解されない言葉遣いや、SNSとの付き合い方を考えるきっかけとしましょう。

辛い思い、どんな方法で伝える？
番組：『ガマンしちゃダメ！』

対象校種 小学校　対象教科 学級活動

［授業時間 45分］　部分視聴

児童生徒の思考と活動の流れ	教師の支援と評価
悲しい時／痛い時／つらい時／うれしい時 泣くことで、何かを伝えている	・今までどんなことが原因で泣いたのかを聞く。（その時の気持ちも聞く）
 番組部分視聴①　谷川俊太郎『なくぞ』 1分48秒～2分53秒（1分5秒）	・谷川俊太郎「なくぞ」の泣く原因を意識しながら部分視聴する。
嫌なことがある／辛い 泣くことでつらい思いを表現している	・つらい思いを「泣く」という方法で表現することで問題は解決すると思うか聞く。
泣いても原因が何かはわからないよ。 泣いてもつらい思いは解決しない。	
つらい思いをみんなに伝えるためには、どうしたらいいだろう	・つらい思いを伝えるためには、どんな方法があるのかについて、他ペア交流で考えさせ、全体で交流する。
話す／文章／表情 拓君はある思いをこの方法で伝えたよ。何をどんな方法で伝えたの？番組を見たい。	・拓君のことを紹介し、部分視聴する。
 番組部分視聴②　拓君が作文を読む 3分57秒～5分32秒（1分35秒）	・拓君の作文を大きく提示し、つらい思いのキーワードを板書する。
つらい思い ・手がガサガサ　・通るとキャーと言われる　・治らない手荒れ ・差別されている　・悲しくなった　・やめてほしい	・もし自分が拓君と同じ学級のクラスメートだったらと仮定し、拓君の作文を聞いて自分はどう感じたかを交流する。
もしもクラスメートだったら・感想 ・傷つけてごめんね ・もうしないようにする ・仲良くしたい ・悪いと反省する 実際のクラスメートの感想 番組部分視聴③クラスメートの感想 5分32秒～最後（2分28秒） ・いじめだと思っていなかった ・遊びのつもりだった ・つらい気持ちがよく伝わった	・今日の学習を通して、学んだことや気付いたことを学級全体で交流する。
高橋みなみさんの感想 人は言葉にしないと伝わらない。「見てわかるでしょ」では伝わらない。 つらい思いは言葉にしないと相手に伝わらない。自分は遊びのつもりでも、相手は嫌な思いをしていることもあるから気を付けないといけない。	【思考・判断・実践】 ・豊かな学校生活をつくるために、課題について話し合い、自分のあった解決方法を考えることができたか。 （望ましい人間関係の形成）

※拓くんが書いた作文（一部）
https://www.nhk.or.jp/tokkatsu/ijimezero/teacher/2013_011_01_shidou.html